

# うおづ 市議会だより



井原市議会議員の皆さんと（令和2年10月26日）

## 主な内容

12月定例会審議結果	2～3
常任委員会審査内容	4
代表・個別質問	5～9
視察報告/井原市議会との交流事業	9
行政視察で来市された議会/ 会議日誌/3月定例会日程/ 編集後記	10

# No.195

令和3年2月1日発行

令和2年  
12月定例会



編集／議会だより編集委員会  
発行／魚津市議会

〒937-8555 魚津市积迦堂一丁目10番1号  
☎ 0765-23-1041 e-mail gikai@city.uozu.lg.jp



うおづ市議会だよりは、「まもりがみいかわの守紙」を使用しています。  
いかわの守紙は、新川地区の間伐材を有効活用することを目的として生み出された紙です。

# 12月定例会

12月定例会は、12月1日から18日までの18日間の日程で開会し、令和2年度一般会計・特別会計補正予算や条例の制定などについて可決・同意しました。

## 可決した主な議案

### 補正予算

(単位：千円)

議案名と主な内容	補正前の額	補正額	補正後予算額
令和2年度魚津市一般会計補正予算(第7号)	22,220,466	354,381	22,574,847
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対策【106,343千円】 <ul style="list-style-type: none"> <li>プレミアム付飲食券発行 27,000</li> <li>新しい生活様式を踏まえた経済活動支援(増額・拡充) 20,000</li> <li>魚津の宿泊割引事業(魚旅・期間延長) 15,000</li> <li>その他 44,343</li> </ul> </li> <li>・コロナ禍の影響への対応【28,932千円】 <ul style="list-style-type: none"> <li>イベント中止等に伴う事業費の減額 △ 32,073</li> <li>指定管理者への支援 30,710</li> <li>使用料等収入の減収対応 30,295</li> </ul> </li> <li>・人件費を含むその他の補正【219,106千円】 <ul style="list-style-type: none"> <li>人勤に伴う期末手当の減 △ 5,200</li> <li>その他人件費(育休による減など) △ 21,999</li> <li>ふるさと寄附(増額) 130,000</li> <li>その他 116,305</li> </ul> </li> </ul>			詳しくはこちら ↓ 
令和2年度魚津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	3,985,748	12,085	3,997,833
令和2年度魚津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	1,211,146	29,563	1,240,709
令和2年度魚津市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	5,086,846	27,423	5,114,269
令和2年度魚津市水族館事業特別会計補正予算(第3号)	204,884	6,653	211,537

### 人事案件

魚津市固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて

おの ひろのり  
大野 弘憲 氏の選任に同意

魚津市選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙について

委員 かつとう しげひさ かなやま りょうねん きのした りか ひらた まさみ  
加藤 樹永 氏、金山 良然 氏、木下 理佳 氏、平田 昌美 氏

補充員 い かい ゆういち たけうち よしひろ すみわ みえこ こさか よしこ  
五十井 雄一 氏、竹内 嘉宏 氏、住和 美枝子 氏、小坂 淑子 氏

## 議案に対する討論

最終日の12月18日、議案に対して賛成か反対かの意見を表明する討論が行われました。

・議案第83号 第5次魚津市総合計画基本構想の策定について

賛成討論 浜田泰友 議員

「ともにつくる 未来につなぐ 人と自然が輝くまち魚津」を将来都市像として、喫緊の課題である人口減少対策や新型コロナウイルス感染症対策などに全力で取り組み、ふるさと魚津を次の世代へとつないでいくものである。これからの10年間、この実現を目指し、議会としてもその一翼を担うことを申し上げ、賛成討論とする。

## 12月定例会審議結果一覧

### 議案

番号	件名	結果
第65号	令和2年度魚津市一般会計補正予算(第7号)	可決
第66号	令和2年度魚津市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	
第67号	令和2年度魚津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	

第68号	令和2年度魚津市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可 決
第69号	令和2年度魚津市水族館事業特別会計補正予算(第3号)	
第70号	令和2年度魚津市下水道事業会計補正予算(第2号)	
第71号	魚津市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	
第72号	魚津市税条例等の一部を改正する条例の制定について	
第73号	魚津市トライアルオフィス条例の制定について	
第74号	魚津市立学校施設の開放に関する条例の制定について	
第75号	魚津市旧小学校体育施設の開放に関する条例の制定について	
第76号	魚津都市計画事業経田中央土地区画整理事業施行条例の廃止について	
第77号	魚津市印鑑条例の一部改正について	
第78号	魚津市農村環境改善センター条例の一部改正について	
第79号	魚津市福祉型児童発達支援センター条例の一部改正について	
第80号	魚津市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	
第81号	魚津市公民館条例の一部改正について	
第82号	魚津市営体育施設条例の一部改正について	
第83号	第5次魚津市総合計画基本構想の策定について	
第84号	魚津市上中島多目的交流センターの指定管理者の指定について	
第85号	魚津市大町コミュニティセンターの指定管理者の指定について	
第86号	魚津市片貝コミュニティセンターの指定管理者の指定について	
第87号	経田漁港の指定管理者の指定について	
第88号	魚津総合公園(魚津水族博物館を除く。)及び早月川緑地の指定管理者の指定について	
第89号	魚津市体育施設の指定管理者の指定について	
第90号	字の区域の変更及び廃止について	
第91号	教職員用タブレットパソコン調達業務契約の締結について	
第92号	魚津市固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて	同 意

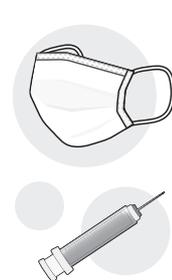
●魚津市議会 タブレット端末を導入します!! (今回購入費用の補正予算が成立、運用は令和3年度)

議案第65号 令和2年度魚津市一般会計補正予算(第7号) 議会関係費 議会タブレット端末導入事業					
1. 事業概要					
(事業の目的)					
議会の資料・情報の携帯化や情報共有・情報伝達の迅速化といった議会運営の効率化や活性化、資料の印刷、配布等のペーパーレス化・事務負担の軽減を図るため、タブレット端末を導入する。					
※台数18台(議員17台、事務局1台)					
(経緯)					
議会活性化検討会では昨年度に引き続き今年度もタブレット端末導入について検討を行い、早期に確実な運用ができるよう同一機種を議会費で導入するという方向性を出し、議員協議会で全議員の了承を得た。また、新型コロナウイルス感染拡大時や災害時の議会対応等からも早期導入の必要性があるため、コロナの影響で実施できなかった視察の予算(旅費)を減額し、タブレット購入費に充てることとなった。					
2. 予算額					
旅費	当初予算	4,890千円	備品購入費	当初予算	0千円
	今回補正額	△1,260千円		今回補正額	1,260千円
		3,630千円			1,260千円
※実際の運用は令和3年度から予定しており、今年度中に運用に関する基準を議会活性化検討会でまとめます。					

民生委員会

詳細が分かり次第HPでもお知らせしたい。

● 12月15日  
議案第65、68、77、79、80号の審査付託議案の審査



● 12月15日  
議案第65、70、73、76、87、88号の審査付託議案の審査

【一般会計補正予算について】

**Q** 高齢者等へのPCR検査助成事業だが、単に不安だからと検査を受けられると医療機関の負担増にならないか。

**A** 健康センターが受付窓口であり、状況を聞きながら相談もあわせて行いたい。高齢者や基礎疾患のある場合、重症化するリスクが高く、不安の解消を図ることも目的の一つである。

**Q** 市の発熱外来の対応はどうか。特に年末年始にかけての対応について市民に周知が必要ではないか。

**A** 発熱外来の受診方法は11月から変更となりHPで案内している。年末年始の体制についても

【介護保険事業特別会計補正予算について】

**Q** 国のヤングケアラー実態調査が始まったが、市では把握しているか。把握していない。

**A** 把握していない。

**Q** 指定管理料から利用料金分が減額されることになるのか。

**A** 指定管理料を上回る利用料金が見込まれるので、指定管理料の支払は生じないと考えている。

**Q** 今後のつくし学園について近隣市町との話し合いは進んでいるのか。

**A** 新川圏域において、担当レベルで協議し、各自治体で内部調整を行っているところである。前に進めていきたい。

産業建設委員会

● 12月15日  
議案第65、70、73、76、87、88号の審査付託議案の審査

【一般会計補正予算について】

**Q** 外国人技能実習生等受入支援事業では、国のGOTOトラベル事業を使えないか。

**A** 魚津に来てから宿泊するのではなく、例えば成田空港等に到着して、国の指導で2週間隔離し、その周辺で宿泊することになるので、GOTOトラベル事業は使えない。

**Q** 国の指導なら、国に負担してもらうべきだ。

**A** 本来、国に負担してもらうべきだと思うので、今後、国の第3次補正等があれば、交付金で支出できるように協議していきたい。

**Q** GOTOトラベル事業が12月28日から1月11日まで中止となったが、

魚旅キャンペーンはどうするのか。

**A** 今回の補正は1月以降3月までとしているので、GOTOトラベル事業と足並みを揃えて、魚旅は年が明けてからの停止を考えている。

**Q** プレミアム付飲食券事業も同様に、一旦中止等をする場合に、何か手当は考えているか。

**A** 事業については、刻々と変わる状況に応じて、適時、タイムリーな対応を検討していきたい。

**Q** 魚津市トライアルオフィス条例の制定について

**Q** トライアルオフィスとサテライトオフィスの違いは何か。

**A** トライアルオフィスは、お試しで最長6か月間、魚津市での環境を体験していただくための施設で、サテライトオフィスは、貸事務所のような場所を使って事業をするため、本社と離れた場所で仕事をするという物件をいう。市には、サテライトオフィスの設置に対する助成制度がある。

総務文教委員会

● 12月16日  
議案第65、69、72、74、75、78、81、86、89、90号の審査付託議案の審査

【水族館事業特別会計補正予算について】

**Q** 今後計画している修繕は。

**A** 飼育生物に係るものを優先して修繕を行ってきた。今後はそれ以外の長年更新していない電気系統などの整備も順次行っていく。

**Q** 利用に関して予約方法や優先順位は。

**A** 現在の夜間開放管理指導員に引き続き管理をお願いする予定である。

総体廃止に伴い利用者が代替場所を求める場合など、個々に相談を受けている。また、現在でも学校の体育館は校区外でも

も利用可能であり、今後利用者も不利益にならないよう配慮する。

**Q** 子どものスポーツとの関わりは非常に大事である。教育的意味が大きいところからお金を取ることが残念である。

**A** 今回の案は、自分の学校でやる分は無料、他の場所でもやる分は減免の形で、というものである。子どもは全部無料というのが理想ではある。今の意見を活かせるよう指導者の資質向上等も含めて考えていきたい。

● 12月18日

追加議案第91号の審査付託議案の審査

**Q** 教職員用タブレットパソコン調達業務契約の締結について

**Q** ITの流れは止まらないと思う。将来的にわたっての財源措置は。

**A** GIGAスクール構想は国の方針であり財源措置はあると思うが現在明確にはなっていない。

代表質問とは、市長の施政方針について会派を代表し大局的見地から行うものです。

天神山交流館について廃止の延期を求める要望があるが今後の方針は。



自民党議員会

一問一答

関口 雅治 議員

Q 新知事が誕生したが今後どのような関係性を取っていくのか。

A 県の役割は市町村の課題を解決するために支えていくこと、そのためにコミュニケーションを取っていくと知事は述べている。県と連携して市政を進めていきたい。

第5次魚津市総合計画について

Q 市長が初めて手掛ける今後10年の新たな「まちづくり」である。計画策定にあたり、重点を置いた所や苦勞した面は。

A 全ての考え方の根幹として、人口減少への対応を据え、策定作業を進めてきた。また、苦勞した

た点は、新型コロナウイルス感染症の発生・拡大によって社会構造が大きく変わり、これまでの常識が通用しなくなったことがあげられる。

令和3年度魚津市行政経営方針について

Q 市においても、新型コロナウイルス問題など取り巻く環境は厳しく、事業遂行や諸問題の解決には市民の理解、協力が

A 財政健全化の早期実現に向け、徹底したコスト意識のもと、持続可能な行財政運営の実現を目指す。また、その上で新たな課題に柔軟かつ適切

に対応するため、スクラップアンドビルドなどを徹底しながら、予算の重点配分を行っていきたい。「重点的に取り組む項目」

は大きく分けて「特定政策分野」と将来を見据えての「魚津の子どもと豊かな自然を育む未来の創出」の2点を掲げた。

新川学びの森天神山交流館の廃止後の方向性について

Q 学びの森みらい会議からの廃止延期に関する要望を踏まえて今後どう対応するのか。

A 公共施設再編方針のとおり「民間への譲渡や民間活力の活用を進める」方向に変わりはないが、現在もコロナ禍の終息が見通せず、民間事業者が施設の利活用を手掛けるには、非常に厳しい状況である。令和3年度は1年間を用途に、利用者の対応も含め、市が施設の運営、管理していくことを検討する。

(その他の質問事項) 地区要望について

総合計画での人口目標は達成可能なのか。実効性のある人口減少対策に取り組むべきだ。



しおかせ

一問一答

浜田 泰友 議員

第5次魚津市総合計画について

Q 将来人口について、第4次計画では人口の目標値を200人下回った。第5次計画に掲げる目標は

A 実現にはこれまでにない人口減少対策に覚悟を持って取り組んでいく。

新川こども屋内レクリエーション施設整備について、市はどのように関わっていくのか。またこの施設も含め、子どもと一緒に過ごせる場所の整備について総合計画ではどう考えているのか。

Q 公共施設再編について

A 県の施設整備検討会は

A 鉄筋コンクリート造2階建て延床面積1000㎡を想定した場合、建築費のほか土地買収費、解体費等を含め総額で約5億5000万円。補助金は2分の1を見込んでいる。

Q 室内温水プールと学校プールの検討状況は。

A 室内温水プールは令和6年度の目標を見据え、整備手法を判断する。小規模な改修を必要とするものを今後閉鎖していく方向で検討し、併せてプール授業は総合体育館の室内温水プールへ統合するよう検討している。

空き家対策について

Q 第2次空き家対策計画の策定は。

A 令和元年度に実施した実態調査を踏まえて、今年度末までに策定する。空き家は119戸と5年間で約2割増加している。



(その他の質問事項) 行政経営方針について

## 代表質問

知事選における新田氏と石井氏の約2000票の差をどう捉えているのか。



雄心会

まつくら  
松倉

いさむ  
勇議員

一問一答

Q 市民はこれまで石井前知事と村椿市長のペアを期待されていたわけだがそれが生かされた実績が見えない。新田新知事と石井前知事の市民の声である約2000票の差は村椿市政への批判票もあるのでは。

A 市民の県政への変革を望む意思が示されたものと考えている。  
市の感染症対策関連について

Q うおづ女性の会連絡会との懇談会で副市長は駅前の飲食店街への影響は大きく、安心して飲みに行ける環境づくりが大

ことを条件としているので、ステッカーの交付も増えるものと思われる。

公民館のコミュニティセンター化について

Q 公民館のコミセン化の目的は。

A 住民ニーズが多様化・複雑化する中で、地域の課題を住民自らが解決していく必要性が高まっている。生涯学習の拠点としての公民館機能は残し、地域づくりの拠点としても活用するためコミセン化を目指している。

Q コミセン化のメリット、デメリットは。

A 生涯学習事業に加え、地域人材を活用した介護予防クラブの開催など柔軟な事業展開ができるほか、住民間の交流促進や物販活動を行うコミュニティビジネスも可能となる。大きなデメリットはないと考えている。

Q その他の質問事項）  
・シングルマザーへの支援策について  
・熊の出没状況の周知について

## 個別質問

個別質問とは、議員が市の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針等について所信を聞き、報告や説明を求め疑問点を質すものです。

コロナの影響で収入減が見込まれる。財政健全化計画の目標達成のため予算編成をどうするのか。



自民党議員会

かながわ  
金川

としこ  
敏子議員

一問一答

Q 財政健全化計画について

A 令和2年度の予算編成では、財源不足による基金の繰入れを解消したが、指摘のとおり来年度はコロナの影響により更に厳しい財政状況となる。基金の取崩しによる財源の確保も考慮する必要があると思うが、最小限となるよう努める。

Q 財政健全化計画の目標を達成するために予算編成はどのようにするのか。

A 令和2年度末までに30%とするが、現状は、

Q 「魚津市における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」では管理職の女性割合を令和2年度末までに30%とするが、現状は、

A 今年度は20%。昨年度より増加したが目標には達していない。  
Q 今後もぜひ継続を。

A 本年度中に新たな5か年計画を策定する予定であり今後も取り組みを継続する。

Q システム改修や医療機関等への説明など準備ができ次第取り組む。

Q 女性活躍社会推進について

Q その他の質問事項）  
・公共施設再編整備の進捗について  
・北アルプス横断道路構想推進について

## 代表・個別質問

- ・事前通告・・・質問したい議員には、前もって質問内容を記した発言通告書の提出を義務付けています。
- ・登壇順・・・公平を期すために、通告書の届出順としています。
- ・質問時間は60分・・・本市議会では、質問時間は答弁を含めて60分以内という制限を設けています。  
(12月定例会ではコロナ対策のため50分)

## 個別質問

市民バスの目的の一つに市民福祉の増進がある。市民バスの障害者割引制度を導入する考えは。



日本共産党

一問一答

おかだ たつろう  
岡田 龍朗 議員

市民バスに関して

**Q** 障害者割引制度を導入する考えは。

**A** 割引制度はバスの利用促進に繋がると考えられる。今後研究したい。障害者の外出支援としては回数券を配布している。

**Q** 市民バスの乗降者数に合わせた車両の考えは。

**A** 利用者数の少ないルートも存在する。運行ルート再編も含めて車両の小型化を検討したい。

民生行政に関して

**Q** 新川厚生センター魚津支所の存続を継続的に求めていくべき。考えは。

**A** 県に確認したところ厚生センター再編等の動きはないとのことだが、地域住民の健康を支える

広域的・専門的・技術的な拠点施設であり、今後も連携を図っていく。

**Q** コロナの影響による市内の病院・介護施設の経営状況の把握は。

**A** 医療費の動向から受診控えの傾向や一部の介護事業所が休止したが、経営が厳しいという意見は聞いていない。

松倉城跡に関して

**Q** 市は松倉城跡の国指定史跡に取り組んでいる。そのメリットは。

**A** 松倉城跡への関心や愛着が高まる。また、国庫補助金の活用も可能となり、より魅力ある松倉城跡となることで交流人口の増加も期待できる。

(その他の質問事項)

・木造家屋の耐震化事業に関して

成長期の運動器障害の発生予防と早期発見が大事だと思うが、見解は。



日本共産党

一問一答

やぐらまき まさおみ  
八倉巻 正臣 議員

市民バスについて

**Q** 平成30年4月から公共交通対策事業として中学生・高校生の乗車料金を改定したが学生の利用状況は。

**A** 改定前の平成30年1月～3月の1ヶ月あたり利用者数は165人。改定後の平成31年の同期は2074人で学生の利用者は増加している。

**Q** 利用客が見込めそうな場所や公共施設等に停留所を増やす考えは。

**A** 平成30年9月に北陸電力魚津支店の移転に伴い一定程度の利用客が見込まれることから停留所「江口」を移設したり、

観光客の利便性向上のため「埋没林博物館前」を新設した実績もある。利

用者の利便性が高まるよう今後も検討していく。



児童・生徒の健全育成について

**Q** スポーツ少年団に加入している児童・生徒を対象に年1～2回定期的なメディカルチェックが必要と思うが、見解は。

**A** 指摘のとおり成長期の運動器障害の発生予防と早期発見は非常に重要であると思っている。今後、スポーツ少年団の関係者や体育協会等と意見交換を行っていききたい。

(その他の質問事項)

・鳥獣対策について

本年度末としていた天神山交流館の廃止について延期の検討をするとのこと。その場合のコストは。



日本共産党

一問一答

いしざき かずなり  
石崎 一成 議員

新川学びの森天神山交流館及び公共施設再編について

**Q** 交流館を廃止閉館し実際の維持管理コストは。

**A** 令和3年度は一部を利活用する事業者との連携や、今後、館全体を民間へスムーズに引き継ぐため、施設や館内に多くある楽器や設備等の維持管理業務が必要である。例えば、1名の管理者を置く想定した場合、年間150万～200万円の費用が最低限必要と考える。

**Q** 交流館の固有機能は市内に代替がない。利用者に対し今後の対応は。

**A** 音楽の練習室を多く有する施設は県内でも富山市民芸術創造センターしかない。利用者との意見

交換を行いながら、活動場所の相談等に応じる。

**Q** 公共施設の利便性向上のための民間事業者の一部占有は可能か。

**A** 公共施設の利便性向上のために民間事業者に施設の一部を利活用してもらうことは積極的に進めていく必要がある。

有害鳥獣対策について

**Q** クマ等の重度の人的被害が想定される街区出沒に対し訓練を連携機関で行うべきでは。

**A** 街中で銃を使用する際は、適切な安全確保を行った上で警察指示のもと発砲をしなければならぬ。訓練により連携体制を確認することは必要であり、今後関係団体と検討していききたい。

(7) ※ 公共交通対策事業(平成30年4月～)…大人料金であった中学生・高校生の「市民バス及び地鉄バス(市内路線)の乗車料金」を小学生同様ワンコイン化し、通学のほか、休日のバス利用を促進することを目的とした事業。

市のゼロカーボンシティの特色として、市庁舎の建て替えの際には、ZEB化に挑戦を。



公明党

なかせ 中瀬

としみ 淑美 議員

一問一答

※ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みについて

Q 庁舎建設時にZEB庁舎に挑戦すべきと思うが、見解は。

A 令和2年3月に策定した「魚津市公共施設再編方針」の中で、市庁舎の建て替えの際にZEB化を図れないか検討している。また、庁舎だけでなく、他の公共施設の建て替え時にもZEB化に率先して取り組んでいきたい。

行政のデジタル化について

Q 行政情報提供にLINEは有効であると考えらる。災害などの非常時や学校現場でLINEの活用を(情報が自動的に利用者者に配信される)「プ

※「シュレ」の確立。

A LINEの利用者は

若者から高齢者までの幅広い年齢層に広がっており、全国の利用者数は840万人以上である。市民サービスの向上のため、市公式アカウント開設に向けた検討を進めていきたい。

また、防災ラジオについても、デジタル化に対応した戸別受信機やコミュニティ放送局を活用した防災ラジオなどについて導入を推進していく。学校現場でもLINEに限らず、利便性、効率性が高まることであれば実現に向けて取り組んでいきたい。

(その他の質問事項)

・学校教育のICT化について  
・子育て支援について

市政運営には、スマートシティ構想の推進に取り組むべき。



自民党議員会

てらおか 寺口

ともゆき 智之 議員

一括質疑

※スマートシティへの取り組みについて

Q 本市の課題解決に向けた取り組みとして「スマートシティ化」が有効と考える。これをどのように進めるのか。

A 各分野を横断したデータを分析、可視化する等、本市にマッチした「スマートシティ化」のあり方を探っていく。先進事例を注視しながら、積極的に取り組む。

コロナ禍における飲食店対策について

Q プレミアム付飲食券事業について参加店の感染症対策の方法及び実施計画は。

A 参加店には感染症対策を必須条件とし、対策にかかる助成制度を新設した。対策を徹底するた

め、市の基準をもとに事業所には対策宣言ステッカーとポスターを配付しており、この項目を遵守してもらおう。また、利用客にも感染症対策の徹底を求めている。

東山田筒分水槽及び周辺地域の活用について

Q 水力エネルギーの有効活用についての見解は。

A 小水力発電等が有効であると考えている。民間と協力しながら、水源のさらなる活用方向を検討し、ゼロカーボンシティの達成に向けて取り組む。

(その他の質問事項)

・中学校修学旅行の代替事業について  
・成人式の実施内容と感染症対策について

市独自のプレミアムポイント付与事業等により、マイナンバーカードの取得率は。



自民党議員会

みずた 水田

まきこ 万輝子 議員

一括質疑

マイナンバーカードについて

Q 市でも普及が進んでいなかったと思うが、現在の市民の取得率は。

A 11月末現在約21%である。令和2年2月末は約11%で県内最下位だったが、現在5位である。

Q 市独自のマイナポイントに上乗せするポイント付与事業のほか取得率向上の取り組みは。

A 毎週月曜日の夜間延長(午後7時まで)、土曜日の臨時窓口(月2回程度、午前9時〜正午)、市内商業施設に出張窓口もこれまで2回開設した。

児童虐待防止について

Q 令和元年12月から児童虐待相談ダイヤル「189」の通話料が無料になった。市での対応は。

A 「189」は、全国

共通ダイヤルで、最寄りの児童相談所につながる。市町村が「189」からの相談を受けることはないが、こども課でも電話等による各種相談を受け付けている。昨年度の相談受付件数は、17件、対象児童数では29人。そのうち児童虐待に関する相談は7件であった。

「産後ヘルパー派遣」事業について

Q この県のモデル事業はいつまでか。またその後の対応は。

A 令和4年3月31日までを予定している。事業終了後、成果や課題を整理したうえでその後の事業継続等を検討したい。

(その他の質問事項)

・ふるさと納税について

※ゼロカーボンシティ… CO2排出を抑えるとともにCO2吸収を図ることで実質の排出量をゼロにすることを目指す自治体。

※ZEB(ゼブ)… ネット・ゼロ・エネルギー・ビルの略称で、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物のこと。

# 個別質問

県民経済計算等のデータを県と共有し、新田知事との民間活用議論を深めよう。



越川 隆文

越川 隆文 議員

一括質疑

新田八朗富山県知事の公約をどのように捉えて対応していくか

**Q** 新田知事の公約である八策の冒頭に、県民総生産が石川県に抜かれたのは富山県政の問題だとの指摘があるが、私はそう思わない。これは北陸新幹線開通の地政学的な影響だ。しっかりと新田知事と政策の議論を行いながら、ともに民間活力を生かせるように、知事との議論できる環境を備えていくべきと考えるが。

**A** 富山県の経済を成長させるために立ち上げる富山版成長戦略会議の経済分析や動向等を注視したい。また会議に参加することがあれば、本市の経済活性化に繋がる話を繰り返ししていきたい。

新川学びの森天神山交流館の閉館について

**Q** 閉館に至った過程において、十分な利用者のヒアリングがあったのか。

**A** 市民説明会を昨年8月に2回、タウンミーティングを10〜11月に実施。パブリックコメントもを行い、これらの取り組みを通じて、市民の意見を聞きながら、公共施設再編方針の見直しをまとめた。

**Q** 大町小学校などの空き校舎利活用について

**A** パーへの売却の話が出てきた。新川土木センターも老朽化している。県と一体となって柔軟な対応に努めてほしい。

**A** 公共施設の有りようは、市だけではなく民間や県・国も含め話し合っていく必要がある。

## 行政視察報告

● 公共施設再編整備特別委員会視察 (10月5日)

【視察先】黒部市民プール

【視察事項】黒部市民プールの公共施設マネジメントについて

【施設概要】

- ・整備 平成元年3月
- ・整備事業費 5億6900万円
- ・構成諸施設 25mプール(7コース)、児童プール、観覧席等

利用者数 59,844人/年

運営コスト

(支出) 約5480万円

(収入) 市費 約4800万円

(うち指定管理料 約2280万円、料金収入 約680万円)

【所感】

黒部市民プールの公共施設マネジメントについては、市全体の公共施設白書を作成し、その中でデータを公表している。魚津市と同様に収入より支出が上回っている状況であった。要因は利用者の減少、それに伴う料金収入減、料金設定、年数による修繕や維持管理費

などが考えられる。

利用者は平成11年の7万2000人をピークに減少傾向となっていたが、近年は6万人を上回っている。その要因として、小学生及び一般向けの水泳教室を拡大したことなどが考えられる。特に小学生を対象とした水泳教室では、無料バスでの送迎を実施して参加しやすいようにしている。

当市での市営プール更新の際、持続可能な経営をするために、料金や設備など、民間とのバランスを見なければならぬ。また、広域での公共施設の相互利用の可能性も模索する必要がある。

## 議会活動報告

● 第5次魚津市総合計画策定に係る市議会との意見交換会 (10月14日)

当局主催の意見交換会が行われた。

【議員からの意見等】

・財政再建をしながら人口維持は図れるのか。

・若者を取り込むことだが、「若者が目指す魚津のまちづくり」が明確なものにならないと見えてこない。

・現総合計画と大きな違いであるSDGsという考え方を盛り込んだことは、評価する。

● 井原市・魚津市議会友好親善交流事業

10月26日〜27日(井原市議会来市)

【意見交換会】 10月26日

コロナウイルス感染症拡大防止に係る取り組みについてそれぞれ意見交換を行った。

両市とも当局と議論または連携しながら様々な取り組みを行っていた。今後も議員同士の交流を続け、コロナ対策に限らず当局への政策提言などについて意見交換を行っていき

たい。



【市内視察】 10月27日

- ・埋没林博物館
- ・魚津浦の屋気楼 (御旅屋跡)
- ・東山円筒分水槽



東山円筒分水槽

## 市議会を傍聴しませんか

市議会の本会議は、開会中いつでも傍聴できます。  
市役所4階の議場傍聴席入口の受付簿に、住所、氏名等  
をご記入の上、議場に入場してください。  
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、傍聴の自粛をお願いする  
場合があります。事前に魚津市ホームページをご確認ください。

## 議会中継を見よう

生中継 ・インターネットで見る

魚津市議会中継

検索



・NICE TVで見る 092CH

再放送

・NICE TVで見る 092CH

録画配信

魚津市議会録画配信

検索



## 行政視察で来市された議会

【自由民主党静岡市議会議員団】 (11月18日)

・TJAR(トランスジャパンアルプスレース)を活用した  
地域活性化策について

## 議会日程

会議の予定は変更する場合があります。

令和3年3月定例会				
3	2	火	本会議開会	午前10時(提案理由説明)
	11	木	本会議	午前10時(代表・個別質問)
	12	金	本会議	午前10時(個別質問)
	15	月	予算特別委員会	午前9時
	16	火	予算特別委員会	午前9時
	18	木	民生委員会 産業建設委員会	午前10時 午後2時30分 (現地調査 午後1時)
	19	金	総務文教委員会	午後1時30分
	22	月	本会議	午後1時30分(討論、採決)

## 会 議 目 誌

10月	26日	議会活性化検討会
11月	2日	議員協議会
	9日	議員協議会 各派代表者会議 公共施設再編整備(特)
	24日	議会運営委員会
12月	1日	全員協議会(先議) 議会運営委員会 本会議(提案理由説明) 全員協議会 議会活性化検討会
	10日	議会運営委員会 本会議(代表・個別質問)
	11日	本会議(個別質問) 各派代表者会議 議会だより編集委員会
	15日	民生委員会 産業建設委員会
	16日	総務文教委員会 議会運営委員会
	18日	本会議(討論、採決) 公共施設再編整備(特) 地域振興とまちづくり(特) 議会活性化検討会
1月	14日	議会だより編集委員会 全員協議会 議会活性化検討会
	18日	議員協議会
	21日	議会活性化検討会

※(特)は特別委員会

## 議場見学【税金探検団】

・経田小学校6年生 (11月17日)



## 編 集 後 記

12月定例会が終わり、激動の令和2年の年の瀬に、議会のよりの編集後記を執筆しています。流行語には新型コロナウイルスに関連した語が並び、大賞には「密」が選ばれました。他にも「鬼滅の刃」では、鬼にされた妹を人間に戻すため、家族を殺した鬼を討つ旅に出るというストーリーが空前の人気を博しました。皆さんのお手元にこの議会だよりが届きますのは令和3年2月になります。新型コロナウイルスの流行が過ぎ去っていることを願い、節分には鬼退治としたいものです。

(浜田泰友)



## 【議会だより編集委員会】

委員長 水田万輝子  
副委員長 浜田泰友

委員 寺口智之  
八倉卷正臣  
林久嗣  
越川隆文